

## 成績評価とGPA制度について

GPA(Grade Point Average)とは、アメリカなどで一般的に行われている学生の成績評価方法の一つであり、履修科目の成績の1単位あたりの成績平均を数値で表すもので、日本でもこの制度を導入する大学が増えています。GPAは、年度毎の年度GPAと入学時からの通算の累積GPAが算出されます。学生へのGPAの通知は、成績通知の時にを行います。

GPAの結果を学生自らが確認し、自分の履修計画の点検材料として積極的に活用してください。

なお、大学としてはGPAを成績順位等の資料として活用し、奨学金や「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく授業料等減免及び奨学金などの選考・運用に用います。

また、GPAが低い(=成績評価が低い)学生に対して、今後の履修計画等に関する修学指導の材料とします。

本学におけるGPA制度及び履修登録の取扱い等について、簡単に説明します。

### 成績評価とGP(Grade Point)について

成績評価については、「S、A、B、C、D」の5段階で評価し、C以上は合格となります。

なお、成績証明書の記載は、合格した科目のみとなります。

また、GPとしては、「Sは4、Aは3、Bは2、Cは1、Dは0」としています。

区分	成績記録	成績証明書	GP
合格	S	S	4
	A	A	3
	B	B	2
	C	C	1
不合格	D	記載しない	0
履修取消	削	記載しない	計算対象外

### GPA制度の概要及び種類について

#### 1. GPA制度

GPAとは、履修した科目の1単位あたりの成績平均点を算出する方法であり、GPに該当する単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出します。計算結果は小数点以下第2位を四捨五入して表記します。

算出式

$$\frac{4 \times S \text{の修得単位数} + 3 \times A \text{の修得単位数} + 2 \times B \text{の修得単位数} + 1 \times C \text{の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数(Dの単位数を含む)}}$$

GPA計算例

科目名	単位	評価	GP	GP×科目の単位数
専攻実技	6	S	4	4×6=24
和声	2	B	2	2×2=4
音楽史	4	A	3	3×4=12
音楽文献学	2	C	1	1×2=2
英語	2	D	0	0×2=0
計	16			42

$$\text{GPA} = 42 \div 16 = 2.62 \rightarrow 2.6$$

#### 2. GPAの対象科目

以下の①②③④以外の授業科目がGPA算定の対象となります。

①成績評価の無い認定科目及び「合格」「不合格」で表記される科目

入学前に修得した単位認定科目、他大学で修得した単位認定科目、語学技能検定により修得した単位認定科目、伴奏、音楽特別活動

②成績評価付きで単位認定した科目

再入学・復学により既修得科目について成績評価付きで単位認定した科目

③教職に関する科目

ただし、「発達心理学」及び「特別支援教育」を卒業単位数に含める場合は、GPA算定の対象とします。

④履修取消した科目

3. GPAは年度毎に算出したもの(年度GPA)、入学時から通算したもの(累積GPA)があり、その計算方法は次のとおりです。

①年度GPA

当該年度に履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を当該年度の履修総単位数で除して算出します。

②累積GPA

入学時から当該年度までに履修し成績評価を受けた授業科目全体のGP合計を入学からの履修総単位数で除して算出します。

4. 再履修科目の取扱い

履修した科目が不合格となった場合は、次年度以降に再度同じ科目を履修し単位を修得することはできますが、再履修して単位を修得した場合においても、不合格となった年度の成績はGP=0として累積GPAの算定対象となります。

**履修取消について**

登録間違い等により、履修しない科目については、履修取消の手続きをすることにより、GPA算定の対象外とすることができます。履修取消の手続き期間については、教務課の指示にしたがってください。なお、履修取消した科目は、成績記録上は、「削」と表示されます。

このGPA制度は、2020年4月1日から実施し、2020年度入学生から適用します。

なお、「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく授業料等減免及び学費支給金の該当者については、当該年度から適用します。